

## ・第2回 岩内町西地区学校運営協議会・議事

令和元年10月17日（金） 19:00～

岩内西小学校会議室

記録者：岩内西小学校 池田 健二

□司会 市川教頭（岩内西小学校教頭）

### 1、 開会

（司会：市川委員） それでは、これから岩内町西地区学校運営協議会を始めたいと思います。それでは、委員長の福嶋尚之様からお話をいただきます。よろしくお願いいたします。

### 2、 設置者委員会挨拶

（福嶋委員） 皆さんこんばんは。お忙しい中本当にありがとうございます。聞くところによると、東地区ではすごい勢いのある会議になったと聞いております。西地区は和やかな中にも慎重な審議のほどお願いいたします。

### 3、 説明・報告事項

#### （1）令和元年度前期学校評価の結果について

（司会：西小市川教頭） 和やかな雰囲気は大切ですね。それでは、さっそく進めさせていただきます。

（西小 市川教頭） 4月から9月までの学校評価をもとに説明させていただきます。アンケートについては、保護者、子ども達に行っており、そのアンケートを学校で分析しております。それでは、1ページ目からご覧ください。西小学校は4つのチームで動いています。確かな学力、豊かな心、健やかな体、信頼される学校の項目で保護者、子どもたちにアンケートをとり、各チームで分析しています。まず、確かな学力についてですが、西小学校の子どもたちは、自覚をもって取り組んでいるのですが、保護者の皆様に学校から情報発信されているのかということが課題となっております。豊かな心については、本校では本校の研修において道徳教育をもとに研究を行っているところです。まだ、4月からの取組でここまで進んでいるということはないのですが、今現在取り組んでいるところです。しかし、保護者の皆様については、言葉遣いや礼儀が今ひとつという評価をいただいていますので、学校では委員会活動などを通して、あいさつ運動などの取組を行っているところです。また、読書については、昨年度からの課題をいただいております。4月に行った全国学力・学習状況調査の6年生の質問紙の中でも、70%ほど子ども達が5分以下の読書時間の取組となっております。学校だけではなく、ご家庭でも声掛けをしていただけるように確認

しました。健やか体については、体力づくりとしてシャトルラン、なわとびを行っており、全校朝会で表彰も行っています。今回はどさんこ元気アップチャレンジについても取り組んでいます。また、現在は5年生だけの取組となっておりますので、他の学年でも取り組んでいけるようにしていきたいと思っております。次に信頼される学校づくりです。信頼される学校になるためには情報発信が大切ということもあり、今年度はホームページで学校の様子を伝えています。特に西小ダイアリーは毎日更新しておりますので、皆様もご覧いただくと助かります。以上が西小学校のアンケートからですが、保護者の皆様には回答できる部分は回答して発信しています。

それでは、第2中学校からお願いいたします。

(二中 中西教頭) 二中はA、B、C、Dの4段階評価でA、Bでだいたい8割みたまわっているものを、おおむね大丈夫、8割にも満たないものを改善策が必要なものとしてとらえて対策を練っております。今日も地域公開日で11名の方がいらっしゃいました。アンケートについても記入してもらいました。「あいさつがすばらしい。」「授業に集中している」などすばらしい評価をいただきました。中には、「地域に体験学習に来てほしい。」などの要望もありました。評価が低かったものになりますが、将来の目標を持ち、「それに向けて努力をしている。」については、低い傾向が見られ、将来を見据えた指導計画が必要です。旅行的行事などを活用して、将来何になりたいか、そのためには何を学習する場良いかという将来の夢を抱かせながら学習に取り組ませていきたいと考えています。その学習を実現するために、外部人材を活用したり、地域の協力を得ながら進めたいと思っております。それで10番目の「いじめなどがなく集団が作られている。」については、いじめのアンケートが今週、来週とありますが、1年、2年、3年と学年によって分けて行っていますが、学年によって差があります。このギャップを埋めるということで、管理職、担任団が力を合わせて取り組んでいるところでございます。自由記述ということで、学校設備、授業に関すること、いじめはなやみなど人間関係に関することについては、下に書いてありますけれども、すぐやらなくてはいけないもの、時間がかかるものいろいろありますけど、施設・設備に関しては、先生方と相談し、教育委員会にお願いしたり、人間関係については、システムをかえたり、チェック体制を強化するなどして進めているところです。あと、裏面は保護者アンケートということでこれも各学年でそれぞれ回答してもらっています。これについても、良いと評価されちるものもありますし、改善しなくてはいけないものもあります。いずれにしても学力を高めることが大切です。子ども達のアンケートについても、読書についても、おとつ、ネットで見てみると、本が家庭にある子は学力が高いという結果が出ています。本があるだけではいけない、本を読む親の姿を見て成長するということがあります。こうした調査も見ながら今後取り組んでいきたいと思っております。授業や先生方について、人間関係について、携帯電話についてなど、すぐ改善できるものではないものもありますが、学校だよりやPTAの会議で話題に出しながら、情報

発信して進めているところです。12月の末に2回目のアンケートをとりますので、その都度対応していきたいと思います。以上です。

(司会：市川委員) それでは、岩内西小学校、岩内二中のアンケートの結果について、何かありましたらお願いいたします。

(小林委員) 10番のいじめがないような集団が作られているについては、どのように調査されたのでしょうか？

(二中 中西教頭) 6月にアンケートを行いまして、いじめにもいろいろ定義がありとは思いますが、嫌な思いをしたことがあると答えた場合には、面談等で対応をして解決したものもありますし、まだ継続して対応しているものもあります。今回はなかったですけども、個人面談などで対応していきます。

(二中 藪校長) 補足して、自分たちの見る目の感度を上げていくことも大切であり、情報を共有していくことが大切であります。目の届かないところで起こるいじめにも対応していく心を持つことも大切ですし、やはりアンケートで目に見える形で取り組んでいくことも大切です。この2つを大切にして今後もいじめに対応していきます。

(小林委員) 子どものアンケートは教室でやるのですか。そうすると、人の目を気にして本当のことを書かないのではないですか。

(二中 藪校長) 人の前で見せることはないですし、自分のことを素直に書いていると思います。教師も「先生しか見ない。」ということをしっかり伝えていきます。また、無記名であると、誰がどのように困っているかわからないので、記名で行っています。

(小林委員) 先生方がたくさんいるので言いにくいのですが、教師間のいじめというのはないのでしょうか。新任の先生方もいると思いますが、そうした先生方のケアは難しいのでしょうか。

(二中 藪校長) やはりショックな事件ですね。こうした事件があるとそういう目で世間の人は学校の先生方を見ています。子ども達も同じで、二中ではNSJノートという家庭学習を出していますが、ただ見ましたよというスタンプを押すだけでなく、短い文章でも気持ちを表し、見取ってもらうよう努力してもらっています。生徒会でも取り組んでもらっています。ただ、教員間のいじめについては、本当かという信じられない気持ちもあります。ただ、いつでもそういうことが起こり得ると思い、管理職は気をつけています。

(伊藤委員) いじめは言葉の暴力もあるし、実際に体に行う暴力もあります。そういうのはわかりますか。

(二中 藪校長) いま、SNSなどで自分ではいじめているつもりはなくても、結果的にいじめになっているものもあります。ただ、単にいじめがだめではなくて、そうしたよりよい人間関係を築くためにも、人の気持ちを考える指導を行っています。

(伊藤委員) 中学校では携帯電話の所持率はどのような感じでしょうか？

(二中 藪校長) 驚くことに中一では9割以上持っています。

(梶委員) ほとんどがスマホです。あとは、キッズ携帯です。

(二中 藪校長) 大阪の方ではOKしている学校もある。全国日本校長会では、まだ早いという判断です。学校で保管するには、高価なものであるので、そうした保証ができないということになっている。どの学校でも可能になれば、話は別ですが。昨今、いろいろな事件があり、気持ちがわかるが、今現在はそうした形です。

(福嶋委員) 中一だけが、いろいろな数値は悪いが、危険な状態なのか、学年が上がっていくとよくなっていくものなのか。どうなのでしょう。

(二中 中西教頭) 中一はまだ入学して、小学校の人間関係や教員、大人に対するイメージもある。2年生、3年生とあがっていくと変化していく場合もある。学年間で違うし、母集団も違うので一概に言えないが、子どもたちが安心して生活できるように人間関係を形成していく必要はある。西小学校とも小中連携をしているので、これから良い結果になると期待している。

(西小 市川教頭) それでは、ほかにあるでしょうか。あれば、最後でも意見を受けつけますので、その時をお願いします。

## (2) 令和元年度前期教育活動について

(西小 市川教頭) それでは、二つ目、各校の取組についてお知らせします。今、中西教頭からお話があったように、二中と西小では、小中一貫教育を進めております。その写真を載せました。6年生では、3学期に1回だけ中学校に登校するのが一般的ですが、二中では年3回企画していただいています。1学期は1時間、お昼からお世話になり、2学期は、小学校に登校しないで、中学校に直接登校して一日過ごしています。現在の中学1年生は、理科の乗り入れ授業をしていただいて、さらに担任にもなっていただいて、すんなり中学校生活を送れていると思います。あと、教員の研修も合同で行っております。西小学校は、20

代の教員もたくさんいますので、中学校の先生にも教わりながら、研修を進めているところです。また、中学校の授業も参観させていただいています。11月8日に研究会を行います。第二中学校を会場に本校の6年生の授業を第二中学校の先生が行います。もし、お時間があれば見学に来ていただければと思います。ということで、4月から9月までの本校の歩みです。これにつきましては、学校だよりやホームページでお知らせしているものもあります。まず、4月なのですが、1年生34名が入学してきました。1年生は36名になると2クラスになるのですが、残念ながら34名で教室がびっしりです。そうした状態が、ここ数年続いており40人近くの学級と18人前後の学級に分かれています。町からは、学習支援員をつけていただき、担任だけではないかたちで、学習を進めてもらっています。今の時点で来年度の1年生も35名で微妙な状態です。5月には、遠足に出かけました。本校は、各学年で行くのではなく、1・2年、3・4年、5・6年のブロックで行っています。目的は、上の学年が下の学年の面倒を見るなど異学年の交流も大切にしています。6月運動会がありました。本校は、保護者の参加も良く協力していただき、晴天の中運動会が行われました。7月は、先ほど話しましたように、乗り入れ授業が行われました。理科では中学2年生が小学6年生に顕微鏡の使い方を教えてくれました。とても良い授業でした。裏面に行きます。8、9月は校外学習がありました。4年生の見学旅行は雨でしたが、5年生の宿泊学習はとても天気が良かったです。地域を学ぼうということで施設見学を多く取り入れています。6年生も修学旅行に行きました。今回、修学旅行で学んだことを生かして、いろいろなことに取り組んでほしいと思います。10月は、学芸会があります。1年生はかわいい演技でがんばっていて、他の学年も一生懸命に取り組んでいます。日曜は地域公開の学芸会の日となりますので、こちらもぜひ参加して見学してください。以上が西小学校です。二中の方お願いします。

(二中 中西教頭) 二中です。二中は4月に38名の1年生を迎え、4月6日に入学式を行っております。5月は旅行的行事ということで、2年生は札幌方面、3年生は東京、1年生は小樽に見学旅行ということで実施しています。6月は、校内体育大会ということで、また中学で一番大きな部会の大会があり、バスケットボール男子が優勝、女子が2位、野球後志2位、バレーボールも2位ということですので素晴らしい結果を残しています。7月は、西小学校から登校日、終業式がありました。8月は、野球と水泳の全道大会。あとは、高校の説明会を開き、生徒が聞く時間をとりました。希望を取り、自分の行きたい高校の説明会を受けました。あとは、吹奏楽部の演奏会があり、3年生が引退し、新しいチームを作って演奏しています。夏休みも練習して銀賞に輝いています。9月に入って地区の新人戦があり、女子のバスケットボールが優勝しました。最後に文化祭ですが、開会式から閉会式まで、練習時間を短縮しながら内容の良いものを行っています。以上が二中です。

(西小 市川教頭) 以上が、各校の学校活動でした。何かご質問はありませんか。

(伊藤委員) 岩内二中の生徒はきちんと授業を受けていますか。前に見に行った時、すごかったです

が。

(二中 中西教頭) 4年前に岩内一中を見に行ったのですが、二中の話はいろいろ聞いていました。警報を鳴らすなど。しかし、教育委員会の方も同じことをおっしゃいますが、以前とは変わって落ち着いて授業をしているということです。

(伊藤委員) 以前、公開参観日に行ったときは、まともに授業を聞いていなかったのです。

(福島委員) 残念ながら岩内町でのイメージはまだ変わっていません。

(二中 中西教頭) 明日の地域公開参観日を見に来ていただければわかります。あいさつもしっかりしています。

(西小 市川教頭) 以前は、西小も同じだったと思います。ぜひ、西小の参観日も見に来ていただければと思います。

(二中 藪校長) 本当に以前とは違います。あいさつも良いですし、先生方の授業もわかりやすかったと聞くことも多くなりました。アンケートでも良い評価をいただいています。中西教頭も言っていたように、岩内と聞くと、みんなそう思ってしまうのですが、本当に落ち着いてがんばっています。教育局の方にも言っています。

(西小 市川教頭) 最後に地域人材を生かした授業について話させていただきます。これにつきましては、地域コーディネーターの浜上さんが間に立っていただく場合もありますし、学校が独自に進める場合もあります。まずは、西小学校ですが、国語で読み聞かせのボランティアをやっていただいて、読み聞かせを行っていただいています。また、社会科の歴史で室町文化を学習するのですが、その中で茶道が出てくるので、茶道の先生、おかださん、ほしさん、ふくざわさんに来校していただき、6年生と来週授業をしていただく予定です。あとは、学芸会で展示する予定で、写生会の絵があるのですが、その絵の指導で岩内高校の小倉先生という美術の先生に来ていただいて、5年生の水彩画の指導をしていただいています。残念ながら本校では、美術の専門教員がいないため、教員の指導にも役立ちました。あと、体育なのですけれども、ダンスの指導を小塚さんに行っていただきます。今、岩内出身ですが、今札幌にいらっしゃって、ダンスを習っている子どもたちもいます。あとは、水泳学習の補助で保護者の方に数名お手伝いをいただいています。スキーの方は、星印になっています。当然これはまだ行われていませんが、今年度もお手紙を出して募集をしますが、浜上さんに聞くと、願いする方が高齢化しており、現在も募集しているところです。年に2回しかないのですが、いろいろなレベルな子がいるので、指導者のお手伝いもたくさんいると助かります。また、中学校では、音楽の講師をお願いしているところです。あとは、夏休みの学習会のお手伝いに西保育所の所長さんに来ていただき、ま

た、登下校の見守りを長期に渡って、お世話になっております。中学校の方では、部活の指導に入っただけです。これが地域の方からお願いしている学習活動です。もし、こんな活動がよいのでは、また、こうした活動がありますよということがありましたら、ご意見をいただければと思います。この件に関して何かあればお願いいたします。

(伊藤委員) 英語はどうか。

(西小 市川教頭) 英語は、町から ALT の方に来ていただけて授業をしています。どなたかいらっしゃいますか。

(伊藤委員) 岩内に何人かいらっしゃるとは思いますが・・・。

(西小 市川教頭) 岩内リゾートでも英会話教室などが開かれています。

(福嶋委員) 行ってみたことはあるけれど、英会話ではなかったです。コミュニケーションのような感じでした。

(伊藤委員) 小学校の先生も来ていましたよ。

(西小 市川教頭) そうですね。教員も英語力を高めなくてはけません。

(二中 藪校長) 小中一貫事業でスキー学習については、自分と笠原先生も行きますよ。

(西小 市川教頭) ありがとうございます。

(伊藤委員) 昔は、保護者の方もスキーに来ていましたよ。

(西小 市川教頭) 今も来ていただけています。止まれない子を止めていただいたりしています。

(小林委員) 今、職場体験学習などはしていませんか。

(西小 市川教頭) 中学校ではしているのではないですか。

(小林委員) 町内の病院や工場、事務所をやっている方に学校に来ていただいたり、職場に行ったりすることでできるのではないですか。高校になってからでは遅いと思います。建設会社や事務の人に来てもらって、こういう仕事をしているということを説明してもらってもよいのではないかと思います。

(西小 市川教頭) 今、キャリア教育というものを小学校でもやっているのですが、実際に来てもらった方が効果的だと思います。あと、いかがでしょうか。それでは、次に行きます。これまでのことについてや全体のこともよいので、何かあればお願いします。

#### 4、意見交流

(小林委員) 不登校についてはどうですか。

(西小 市川教頭) 現在、完全な不登校は1名です。ただ、みんなが帰ってから担任と話し合いを近日中に行う予定です。

(小林委員) 完全に学校に来られないのですか。

(西小 市川教頭) 来られる日もありますが、少ないです。

(中西委員) 中学校は、各学年に一人程度います。ただ、学校にたまに来る、また、登校渋りなどもあります。

(梶委員) 自分の中一の子がいるので、中一に関して言えば、小学校時代からも子もいます。ちょっと不登校気味の子や学校に長くいない子もいます。自分からしたら、甘えているのかなと思います。

小学校は一人一人を見る時間があるが、中学校は教科担任制なので子ども達が自立しなくてはいけないと思います。本人しだいなのではないでしょうか。中1はそうした割合が多いと思います。学校がつまらない、誰かがおもしろくないというが、他人ではなく自分達で見つけてほしいと思っています。学校だけの責任ではない、本人達の問題もあると思います。授業がわからないのだったら、先生に聞く、友達に聞くとかしてほしいです。

(二中 藪校長) 自分たちの子以外にも目をかけていただけるのは本当にありがたいです。やはり、全く来ないということは少ないですが、不登校傾向の子は男女でもやはり数名いるのが現状です。そうした子の支援は、担任団で家庭訪問などを行っていますが、必ずしも効果があることばかりではないです。そうしたところで、保護者の協力をいただくことは大切です。町でもソーシャルワーカーに対応してもらっている。一中でもいます。昔のように手を引っ張っていくことは難しい。やはり、今現在も大きな課題であることは間違いありません。

(小林委員) 先生方も大変ですね。

(二中 藪校長) 昔のように消火器をまくとかはないですが、ちょっと何か言われるとへこんでしまうといったたくましさがないように思われます。

(梶委員) 怒られ慣れていないのではないのでしょうか。高校生を含めて。今の子どもたちはすぐに怒られたらといってしまう。それほど怒っていないのに。自分は参観日でもほかの子は怒ります。

(小林委員) 先生方も怒ったら、親が来るのでしょうか。自分は先生には間違っことは怒ってほしいし、自分でも指導します。

(福島委員) 不登校の保護者でも気にする人と気にしない人に分かりますよね。

(梶委員) 自分の子ども学校行きたくないというが、理由は聞き、指導します。親自体もいいよというだけでなく、危機感を持って言ってほしい。不登校の子がいれば、迎えにいったらあげればということも言います。

(西小 市川教頭) 各校、大きな課題です。やはり不登校傾向の子は多い。なるべく早くから対応が必要だと感じます。スクールカウンセラーが毎月1回午後から4校を回ります。相談したいという子どもが増えてきています。本校では、スクールソーシャルワーカーを札幌から来ていただいています。やはり早々来てもらえないです。不登校の状況には、次回にもお話したいと思います。

(小林委員) 親の虐待についてはどうですか。

(西小 市川教頭) 本校では、昨年度2回程度ありました。大きな問題を含むものではなかったですが、今年度はないものの、いつでもあると思いつながりながら、担任と連携を密にしながら見ているところです。

(小林委員) 多くなっているというので心配しています。

(二中 藪校長) いきなり大きな問題が飛び出すのではなく、その前段階で問題が起こっています。そうした時点で発見をしていかなくてはならないし、そうした時点では児童相談所も介入しにくい。生死にかかわることではないとすぐに動いてくれないこともあるが、町の方でも連携して対応することが必要であります。今現在は、そうした大変な部分だけがとりあげられ、教員の志願者も減っている。1倍を切るという話もある。代替教員もいない状況でもあります。

(小林委員) 岩内と聞くと先生方も来ないですね。再任用の先生もいないのでしょうか。

(二中 藪校長) 条件があり、どの先生でもよいということではないのです。

(市川委員) 他にはないでしょうか。以上で今回の会議は終わりになります。はじめに話した和やかに  
という話し合いはできたでしょうか。それでは、以上を持ちまして、第2回学校運営協議会を終わりたい  
と思います。本日はどうもありがとうございました。